



学校法人
鎌倉女子大学

e-learning course（通信教育課程）

〔男女共学〕の設置計画

鎌倉女子大学は、2025年4月開設を目的に、文部科学省に短期大学部初等教育学科の本科とは別枠の張り出し課程として、2年制の“e-learning course”を申請することを計画しています。

このコースでは、所定の課程を修了すれば、次の学位、免許・資格を取得することが出来ます。また、科目等履修生としても、個別に免許・資格を取得することが出来ます。

学位：短期大学士（教育学）

教員免許状：小学校教諭二種免許状、幼稚園教諭二種免許状

資格：准学校心理士、児童厚生二級指導員、幼児体育指導員初級、

レクリエーション・インストラクター、キャンプインストラクター、秘書士※

これにより、初等教育学科は、日本初の小学校教諭免許状が取得出来る通信制短期大学という新しい価値を増すこととなります。

このプランは、昨年来の「将来計画委員会」の自由な議論の中から生まれたものでしたが、立案の動機には2つの時代認識がありました。

今まで「通信教育」は、どちらかというと、様々な理由で全日制に通えない就学希望者への補完的な教育手段といったイメージがありました。しかし、この度の COVID-19 pandemic は、私たちのコミュニケーションの形式にも大きな変革をもたらし、コロナ対応の経験は、オンラインコミュニケーションを常態化させ、新しい情報交流のツールとしてあらゆる社会に浸透していったことは、ご承知の通りです。政府や自治体でも、企業でも、各種機構でも、そして教育の場でも、その有効性を誰もが体験することになりました。心理的にも、技術的にも、みんながこれを受け入れる素地が十分に形成されたと見ていい。

しかも、このオンラインでのコミュニケーションの形式は、単に情報交換という伝達機能に止まらず、オンデマンドにおいて授業内容をそのまま蓄積することを可能とし、これを自ら拾い集めた多様な情報と関係づけながら、新しい知見の創出につなげる創造機能を生み出し始めています。恐らく、Chat-GPT 等の新しい AI ツールの開発は、今後この機能をますます推し進めていくことでしょう。『旧約聖書』以来、いや、恐らくそれ以前から、古来パンデミックがその後の文明の様相を大きく変えていったことは、歴史が教えるところで

すが、それは、過去の出来事ではなく、^{まき}特に起こっている現在進行形の話なのだと思います。

2020年7月13日発行の『学園だより』に「^や已むを得ざる対応から始まったオンライン授業ではありますが、何か新しい教育を手繰り寄せる創造的な契機、そこまで言わなくとも、既存の教授法を見返してみる反省の契機になっていくのかも知れません」と書きましたが、この両3年の経験を通して生まれたと言ってもいいこの通信教育課程の構想は、ますますデジタル化していく時代とも呼応した新しい教育メディアとして、新しい価値とその広がりを生み出していくに違いありません。経験は、見えなかったものを見えるようにし、予感していたものをそれ以上のものとして顕在化させるものです。

受講者の生活スタイルに応じて、オンデマンドで就学することを可能とする「いつでも・どこでも学べる」コースの特徴を幾つか紹介しますと、一つは、「学修ヘルプデスク」です。これは、オンライン形式で専門スタッフが質問を随時受け付けるサポートサービスです。また、一つは、「オンライン・ピアツァ」の提供です。通信教育課程は、どうしても学生同士の横のつながりが希薄になりがちです。これは、面を形成し、点と点を結ぶ学生間の交流の場です。一つは、8月や2月の期間を利用して、教室内での授業や鎌倉散策を経験する対面授業の開講です。また、一つは、音楽や美術やスポーツを始め、既に固有のスキルを持った方がこのコースを利用して免許・資格を取得し、一層の付加価値を身に付け、職域を広げることが出来る「併修制度」の活用です。

この他、魅力あるカリキュラムをコンパクトに編成し、2年間で複数の免許・資格の取得を可能とする態勢を整えています。入学時期は、4月と10月の2期制です。

詳しくは、本学ホームページの[特設サイト](#)をご参照ください。

※課程認定申請予定。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。

[>前のページへ戻る](#)